

令和 6 年度 特別の教育課程の実施状況及び評価等について

守谷市立大井沢小学校

1 特別の教育課程の内容

(1) 特別の教育課程を編成・実施する学校

守谷市立大井沢小学校

(2) 特別の教育課程の概要

守谷市保幼小中高一貫教育のスローガン「世界に輝く人づくり」を目指し、急速に進展するグローバル化に対応することができる人材を育成するため、小学校 1 年生～2 年生において、生活科の 35 時間分（1 年生は 34 時間分）を設定する。「英語活動」においては、守谷市独自に配置している外国語指導助手（ALT）との交流の機会を多く設け、体験的な活動をとおして外国語や異文化を理解し、自他の文化や価値を尊重することができるグローバルな視野や態度の素地を育む学習を行う。

(3) 学校又は地域の特色を生かした特別の教育課程を編成して教育を実施する 必要性

守谷市では、保幼小中高一貫教育「きらめきプロジェクト」を推進し、就学前の保育所等でも、英語を用いた遊びなどを積極的に取り入れたり、外国人講師との英語での交流機会を設けたりしている。この保幼小中高一貫教育としての継続性から、就学前の学びを小学校入学後においても継続する必要性がある。

また、外国語教育に関する意識調査からも、外国語に係る学習への興味・関心が高い児童の割合が高く（〇〇. 〇%←※市で記載），将来は国際社会で活躍することを希望する児童生徒も多い。保護者からも本市の外国語教育に係る取組に対し高い支持を得ており，特別の教育課程を編成する必要がある。

(4) 特例の適用開始日

平成 23 年 4 月

平成 30 年 4 月 変更

平成 31 年 4 月 変更

令和 2 年 4 月 変更

令和 6 年 4 月 継続

(5) 取組の期間

令和 8 年 3 月 31 日まで

2 特別の教育課程の編成・実施計画に基づく実施状況

- ① 計画通り実施できている
 - ・一部、計画通り実施できていない
 - ・ほとんど計画通り実施できていない

3 特別の教育課程に基づく教育の実施状況に関する自己評価結果

(1) 第1学年児童による評価

- ① 英語活動の時間は、楽しいですか。

	割合(%)
とても楽しい	73
楽しい	23.8
あまり楽しくない	3.2
楽しくない	0

- ② ALT の先生といっしょの活動は楽しいですか。

	割合(%)
とても楽しい	87.3
楽しい	11.1
あまり楽しくない	1.6
楽しくない	0

- ③ 英語をもっと話せるようになりたいですか。

	割合(%)
とても話せるようになりたい	84.1
話せるようになりたい	15.9
あまり話せるようになりたくない	0
話せるようになりたくない	0

- ④ 外国のことをもっと知りたいと思いますか。

	割合(%)
とても知りたい	71.4
知りたい	22.2
あまり知りたくない	3.2
知りたくない	3.2

(2) 第2学年児童による評価

① 英語活動の時間は、楽しいですか。

	割合(%)
とても楽しい	43.3
楽しい	47.8
あまり楽しくない	4.5
楽しくない	4.5

② ALT の先生といっしょの活動は楽しいですか。

	割合(%)
とても楽しい	52.2
楽しい	44.8
あまり楽しくない	1.5
楽しくない	1.5

③ 英語をもっと話せるようになりたいですか。

	割合(%)
とても話せるようになりたい	47.8
話せるようになりたい	41.8
あまり話せるようになりたくない	6
話せるようになりたくない	4.5

④ 外国のことをもっと知りたいと思いますか。

	割合(%)
とても知りたい	34.3
知りたい	49.3
あまり知りたくない	9
知りたくない	7.5

(3) 保護者による評価

① 小学校1年生から外国語教育に取り組んでいることについて、どのようにお考えですか。

	割合(%)
とてもよい	88
よい	11
あまりよくない	0
よくない	1

② お子様は、外国語教育の時間を楽しみにしていますか。

	割合(%)
とても楽しみにしている	16
楽しみにしている	66
あまり楽しみにしていない	16
楽しみにしていない	2

③ 小学校1年生から外国語教育に取り組んでいることで、お子様が英語を繰り返し学ぶ機会が増えていると思いますか。

	割合(%)
とても増えていると思う	17
増えていると思う	65
あまり増えていると思わない	10
思わない	8

④ 小学校1年生から外国語教育に取り組むことで、お子様に力が身に付いているとお感じになることはどんなことですか。(複数回答可)

	割合(%)
積極的に楽しくコミュニケーションを図ろうとする態度	25
(英語を) 聞く力	20
(英語を) 話す力	27
(英語を) 読む力	4
(英語を) 書く力	5
力が身に付いていると思わない	19

⑤ 今後の小学校の外国語教育について、どのようなことを希望しますか。ご意見等があれば、お聞かせください。

- ・英語の授業時数を増やしてほしい。
- ・毎日英語に触れるようにしてほしい。
- ・高学年は、書く力と読む力を身につけさせてほしい。
- ・中学校とのギャップをなくしてほしい。
- ・様々な国の人と会話をしてほしい。また、海外の考えや文化を知ってほしい。
- ・英語を好きになってほしい。
- ・書く力よりも、聞く力や話す力をつけてほしい。
- ・家や英語塾では味わえない、海外の行事や文化に触れる体験型の授業を増やしてほしい。
- ・授業だけでは身につかないので、宿題を出してほしい。
- ・ネイティブと日常会話ができる力をつけてほしい。

(4) 学校関係者（教職員）による評価

- ① 小学校1年生から外国語教育に取り組んでいることについて、どのようにお考えですか。

	割合(%)
とてもよい	100
よい	0
あまりよくない	0
よくない	0

- ② 児童は、外国語教育の時間を楽しみにしていますか。

	割合(%)
とても楽しみにしている	100
楽しみにしている	0
あまり楽しみにしていない	0
楽しみにしていない	0

- ③ 小学校1年生から外国語教育に取り組んでいることで、児童が英語を繰り返し学ぶ機会が増えていると思いますか。

	割合(%)
とても増えていると思う	0
増えていると思う	100
あまり増えていると思わない	0
思わない	0

- ④ 小学校1年生から外国語教育に取り組むことで、児童が身に付いているとお感じになることはどんなことですか。（複数回答可）

	割合(%)
積極的に楽しくコミュニケーションを図ろうとする態度	50
（英語を）聞く力	20
（英語を）話す力	15
（英語を）読む力	5
（英語を）書く力	10
力が身に付いていると思わない	0

- ⑤ 今後の小学校の外国語教育について、どのようなことを希望しますか。

- ・市内で共通の指導の仕方や内容、CAN-DO list が使用されるといいと思います。
- ・教員とALTがお互い継続を希望した場合、同じALTに継続してもらえるようにしていただきたいです。

4 実施の成果と今後の課題

(1) 特別の教育課程の編成・実施により目指す学校の教育目標達成の成果

関わる力の育成するため、聞くこと伝えることに重点を置いて指導した。学校全体として、聞く力と伝える力の向上が見られた。

1・2年生から ALT の英語を聞こうとする姿勢を身につけ、聞いたことを伝えようと取り組む様子が見られた。

(2) 教育課程全体としてバランスのとれた教育活動が実施され、学校教育法に示す学校教育の目標達成の成果

1・2年生は、楽しみながら英語に触れる活動を通して、外国人と触れ合うことをとても楽しんでいる。ALT として誰が来ても、抵抗なく英語で話しかける姿がよく見られる。

各学年ともに、外国人と日常会話を楽しむ様子がよく見られる。廊下で会ったら自然に英語で話しかけてコミュニケーションを取っている。

(3) 今後の課題

中学校区において、小小連携を図り 6 年生同士でオンライン英会話を実施した。その際には、初めて会う相手と共通の話題を通して、英会話を楽しむことができた。お互いに英語が通じるか不安が募っていたが、実際スムーズに会話が成立したことで安心することにつながった。今後は、会話の中で自然に行われているべき反応や相槌の仕方など、照れて上手くいかない部分をしっかり練習して身につけさせていく。

低学年から会話の練習を行っているが、反応や相槌の仕方など、自然な会話につながるように身につけてほしい部分を、強化して指導していきたい。

さらに、自分でどこまで英語の能力を身につけたいのか、自分で目標を決めて取り組めるように、成長過程に見合ったゴール設定ができるようにしていきたい。

5 授業の様子



2年生の様子



6年生の様子